学校番号	３０３２Ｂ

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	(学) 実践国語基礎A	単位数	１単位	年次	2･3 年次前期
使用教科書							
副教材等	「標準漢字演習　３回書き込み式」　とうほう（東京法令出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・全ての学習の基礎となる漢字や語句についての学習をメインとした授業です。小中学校で習った漢字の復習をメインに学習を進めていきますので、漢字の苦手な人におすすめです。
・毎回「標準漢字演習」を宿題として課しますので、しっかりと予習をしてくるように。
・漢字学習は反復が大切ですので、復習も心掛けてください。
・この授業とセットで漢字検定の受験をお勧めします。

2　学習の到達目標

・小中学校で学習した漢字を書けるようになること。
・漢字検定４級程度の漢字の読み書き・語彙力の習得。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにしている。	習得した語彙を使い，自分の思いや考えを他者へ伝えられる表現力を身に付けるようにしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり，思いや考えを広げたり深めたりしながら，言葉がもつ価値への認識を深めようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
前期	○辞書の使い方 ○漢字の音訓読み ○字形の理解 ○学習漢字の復習 ○漢字検定5級程度の漢字演習 ○漢字検定４級程度の漢字演習	a:既習内容または新たに学習した語句の意味を理解できているか。またその語句の漢字の読み書きができるか。 b:既習内容または新たに学習した語句を使い文章を作ることができるかどうか。（書） c:予習復習を行い、語句の意味・読み書きの定着を積極的に取り組もうとしているか。	小テスト 単元考査	作文 レポート 単元考査	提出物 振返りシート

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　２５　）時間

・読むこと　…　（　１０　）時間